

CCH Tagetikの導入により、 成長企業の経営力向上を実現



CASE STUDY

お客様名

株式会社アドウェイズ

業種

サービス

活用分野

- ・ 予算管理
- ・ フォーカスティング
- ・ 収益分析

“請求書レベルの明細データを実績、予算、見込みのいずれについても簡単に随時参照できる機能を提供しているのは、CCH Tagetikのみでした。”



管理担当 上席執行役員 田中 庸一 氏(写真中央)
コーポレートソリューショングループ 経営企画ディビジョン ゼネラルマネージャ 松下 豪 氏(写真左)
同 ユニットマネージャ 関 智洋 氏(写真右)

急激な市場の変化、事業拡大に即座に対応するため、 高度化する経営管理ニーズへの対応が急務に

モバイルを中心とするインターネット広告分野で急成長を続け、2006年に東証マザーズに上場、スマートフォンアプリ開発、Eコマースや金融、ビッグデータ分析などへ事業を拡大し、更に昨今ではアジアを中心とする海外事業も拡大の一途をたどる注目企業アドウェイズ。社員の平均年齢も31歳と非常に若く、まさに新進気鋭の同社ですが、しかしその一方で成長企業ならではの経営課題を抱えていた。

アドウェイズの経営企画ディビジョンのユニットマネージャである関氏は、その経営課題について以下のように語る。「当社グループの属するインターネット広告業界は急速な拡大を遂げ、新たなテクノロジーの開発や新サービスのリリースなど日々目まぐるしく変化しています。また、当社グループは国内外の子会社を含め30社以上で構成されており、膨大な経営データの処理に加え、多通貨・多言語対応も急務となり、より高度な経営管理体制を構築することが経営上の重要課題になって来たのです。」

システム導入の背景と課題

- 経営管理の高度化、効率化
- Excelによる経営管理データの保守の複雑化
- Excelによる膨大な実績/予算/見込データ処理の限界
- 経営データの蓄積とデータベース化

新システム必要要件

- 誰でも簡単に利用
- 多通貨・多言語に対応
- グループ会社間の異なる基幹系システムと連携、かつ独立した予算・見込値を柔軟に取り扱える
- 実績/予算/見込データの明細まで確認可能
- 業務フロー機能

CCH Tagetik の選定理由

- エンドユーザーにとって使い勝手が良い
- 明細データを簡単に随時参照可能
- 優れた多通貨・多言語対応機能
- 組織改編に容易に対応
- 運用面が他製品に比べ優れている

アドウェイズでは、経営管理手法として、全体としては実績、予算、見込による一般的なフレームワークではあるものの、各課単位、及び各部署単位でP/Lを勘定科目明細単位で作成している。具体的には、個々の請求書レベルの取引を経営管理上もトラッキングし、各部門の実績、予算、見込のそれぞれにおいて、勘定科目レベルはもちろん、取引レベルでも説明責任を求める仕組みになっている。

これらを従来はExcelで全て管理するという一般的なやり方を採用していたが、その問題点について、関氏は以下のように振り返った。

「当社の経営管理ニーズを満たそうとすると、関数やリンクを組み合わせた非常に凝ったExcelシートとなってしまい、使いやすさと算出プロセスの透明性が犠牲になってしまっていました。それに加え、集計までいくつもの工程があり、アドウェイズの事業スピードに追いつけず、バージョン管理を含めた数値の正確性も問題になっていました。また、管理対象の取引数も1万レコード以上へと膨れ上がってきたため、Excelでの処理も限界に達してきていました。」

エンドユーザーにとって使い勝手がよく、明細データを随時参照でき、多通貨・多言語対応した、運用面でも優れたCCH Tagetikを選定

そこで、アドウェイズでは、特に予算や見込などの計画系・分析系に重点を置いた、Excelを置き換える柔軟性の高い新しいグローバル経営管理ソリューションの導入について、関氏を中心に検討することになった。その導入検討プロセスについて、関氏は以下のように語った。

「当初は、既に着手されていた財務会計システムプロジェクトの拡張で対応できるのではないかと、そのような反応もあったのですが、財務会計とは異なる方法・視点で自由に管理軸を組み立てられること、また財務会計システムでは既に編成済みの予算数値やフォーキャスト数値を持つことは出来ても、予算編成作業や見込み数値の作成作業そのものは行えないことなどを理解してもらい、システム導入の承認を社内的に得ることができ、具体的な検討作業に着手しました。新システムの必須要件には、誰でも簡単に利用でき、UIに優れていること、多通貨・多言語に対応していること、本社・子会社のそれぞれの基幹系システムと連携しながらも独立した予算・見込値を柔軟に取り扱える仕組みであること、実績・予算・見込のそれぞれについて取引明細が勘定科目明細のデータから簡単に参照可能であること、の4つのポイントがありました。」

中でも重視したのは、使いやすさです。経営幹部からスタッフまで、アドウェイズはインターネット広告分野の精鋭ぞろいですが、その反面、会計には不慣れな面があります。そこで、そうした社員でも積極的に利用し、事業判断に活用してもらえるように、業務フローにより自然にガイドしてくれるような経営管理システムを導入しようと考えました。そこで数社の製品を検討したのですが、Tagetikはこの要件を全てクリアしました。特に重視したエンドユーザーにとっての使いやすさの点では、Tagetikではユーザー・インタフェース全体が優れているのに加え、作業業務フローが組織別に図として定義できるので、各組織のユーザーは、自分に直接関係する部分のみ画面上に作業フローとして表示されます。



コーポレートリレーショングループ
経営企画ディビジョン
ユニットマネージャー
関 智洋 氏

メリット及び成果

- 予算管理業務の大幅な向上
- 高度な分析による収益分析・投資精度の向上
- 予算編成プロセスの自動化
- 投資判断の精度の向上

グループ集計から1部署の1科目の1レコード明細までドリルダウンし、現場の温度感をダイレクトに経営層に伝える。社長の岡村から『なにこれ すげー こんなののはじめて』と誉めてもらうことが出来ました。」

コーポレートリレーショングループ
経営企画ディビジョン
ユニットマネージャ

関 智洋 氏

「Tagetik導入が高く評価され、今まで把握仕切れていなかった内容を管理できるようになり、投資判断の精度も向上した」

管理担当上席執行役員

田中 庸一 氏

見込値の入力もその作業フローに従って入力すればいいので、会計に不慣れなエンドユーザーにとって使い勝手がいいという点を高く評価しました。それに加えて、Tagetikでは請求書レベルの明細データを実績、予算、見込みのいずれについても簡単に随時参照できる点もニーズに合致しました。また、海外生まれのグローバルなソリューションであるため、多通貨・多言語対応も優れている点も高評価となりました。更に、弊社は組織改編を頻繁に実施するので、Tagetikはそうした組織改編に容易に対応可能で、運用面も他の製品より優れていると判断しました。」

IT部門の応援を依頼せずに3ヶ月で導入

こうして、CCH Tagetikの導入を決定したアドウェイズ。導入も容易だったと関氏は振り返る。

「導入プロジェクトも順調で、実装パートナーからは3名、アドウェイズからは私と経理担当者の計2名が随時対応するという体制で進めましたが、3ヶ月という短期間で、大きなトラブルもなく、2017年7月にはシステム稼働に漕ぎ着けることができました。今回はAWSによるプライベート・クラウド上で実装したため、社内のIT部門には応援を依頼せずに導入しました。」

予算管理業務の自動化により工数を5分の1まで圧縮し、さらに高度な分析により高い効果を上げている

短期間で稼働できた新経営管理システムだが、その導入効果は極めて大きかったと関氏は続ける。

「まず顕著だったのが、管理業務の生産性の大幅な向上です。従来のExcelベースの管理に比較すると、作業工数を何と5分の1に劇的に削減することが出来たのです。Excelで管理していた頃には、予算担当者チェック、重複チェック、エラーチェックなどExcel集計では必須ではあるが生産性のない作業に大きな工数がかつており、しかもその作業が言わば職人芸とも言えるような経営企画の属人的ノウハウに依存していたのですが、Tagetik導入後は各組織のエンドユーザーの業務をTagetikの業務フロー上で管理し、チェックと不備があった場合の再入力指示等のプロセスをほぼ自動化することができるようになりました。単に作業量が減っただけでなく、今までできなかったような分析も行えるようになり、事業側でも予算システムを活用し始めたのも、導入の大きな成果だと考えています。また、エンドユーザーにも使いやすいと好評で、業務フロー・入力表示項目を担当者別に変えているため、当初の狙い通り会計システムにあまり慣れていないような人でも抵抗感なく使ってくれています。多通貨対応により、海外子会社のより精度の高い計数管理も、狙い通りに行えるようになりました。更に、請求書レベルの明細データとの連携も予想以上に使いやすかったです。当社には「なにこれ すげー こんなののはじめて」という会社のスローガンがあるのですが、役員へのTagetik導入後のデモンストレーションの際に、グループ業績から1部署の1レコード明細までドリルダウンした際には社長の岡村から『なにこれ すげー こんなののはじめて』と喜んでもらうことができました。」



【画面イメージ】CCH Tagetik 予算管理の業務ワークフロー

さらなるメリットとして、投資判断の精度も向上

コーポレートレシジョングループ経営企画ディビジョン ディビジョンマネージャの松下氏も次のように語る。

「おかげで、今Tagetikを一番よく使っているのは社長の岡村と言えるくらいです。iPadを使ってTagetikを自分で確認していて、少しでも数字に疑問があると明細データをチェックし、そのまま担当者に降ってきます（笑）。しかしこれによりTagetik導入が高評価され、今までは把握出来ていなかった内容を管理できるようになり、投資判断の精度も向上したとのこと、何と社内表彰を受賞することになりました。」

Account	金額	対前	対前	対前	対前	対前	対前
売上高	2,035,000	98%	2,035,000	98%	134,000	5%	
売上高増減	20,000	1%	16,000	1%	-200	-1%	
売上高削減	500	-0%	400	-0%	-100	-2%	
純売上高	2,525,500	100%	2,659,200	100%	133,700	5%	
仕入高	41,000	2%	41,000	2%	200	0%	
仕入高増減	3,200	8%	3,200	8%	-100	-3%	
仕入高削減	2,229,000	88%	2,264,300	89%	131,000	6%	
売上総利益	2,264,300	100%	2,395,400	100%	131,100	6%	
売上総利益増減	261,200	10%	263,800	10%	2,600	1%	
総売上高	134,400	53%	134,000	54%	100	0%	
総売上高増減	39,800	18%	22,200	18%	-1,400	-2%	
法定福利費	35,000	15%	34,800	15%	-200	-1%	
福利厚生費	3,066	2%	2,800	1%	-266	-21%	

【画面イメージ】明細遡求が可能な予実管理レポート

今後は海外ユーザーへの展開と、基幹系システムとの統合を深化

こうして大きな成果を上げ、社長を始めとして経営幹部からも高い評価を受け、社内表彰されるまでに至ったCCH Tagetikのシステム。「今後はユーザー・インターフェースの中国語化などのグローバル対応を更に強化し、また、IT部門と協力しより基幹系との統合を深める検討を行っていきたく考えています。」と関氏が今後の展開について語ってくれた。

拡大・成長を続ける事業にCCH Tagetikによる経営力強化という武器を得たアドウェイズ。今後の更なる飛躍が大いに期待されている。

株式会社アドウェイズについて

株式会社アドウェイズ（英: Adways Inc.）は、2001年設立。2006年に東証マザーズ上場。国内最大級のアプリエイトサービス「JANet」「Smart-C」の運営をはじめ、スマートフォン向け広告配信サービス「AppDriver」や全世界対応のスマートフォンアプリ向け効果測定システム「PartyTrack」を展開する。また、アプリコンテンツやECビッグデータサービスの企画・開発・運営など多様な事業を展開。日本を始め、アジアを中心とした世界各国への積極的な海外展開も行なっている。

WEBサイト: www.adways.net 東証マザーズ上場：証券コード2489 / 東京本社: 〒160-6138 東京都新宿区西新宿八丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー38階 / TEL：03-5331-6328（代表） / FAX：03-5331-6327

Tagetik Japan 株式会社について

Tagetik Japan株式会社(英: Tagetik Japan K.K.)は、経営管理(CPM)分野のソフトウェア及びクラウドサービスを提供するグローバル・リーダーであるCCH Tagetikの日本法人として2015年11月に設立されました。2017年9月より東京都千代田区にオフィスを開設。

Wolters Kluwer | CCH® Tagetik について

Wolters Kluwer (AEX: WKL) は、設立180年の歴史がある、企業です。会計、法律、税務およびヘルスケア分野に事業を展開し、重要なインテリジェントツール、および専門機関向けの情報、ソフトウェア・サービスを提供しています。CCH Tagetikは経営企画・経理・財務部門の直面する課題を理解し、これまで蓄積してきたナレッジをもとに、業績向上を推進する操作性に優れたエンタープライズスケールの企業パフォーマンス管理ソフトウェアソリューションとして提供しています。

詳細については、www.tagetik.com/jp及びwww.wolterskluwer.comをご覧ください。

Tagetik Japan 株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1

大手町ビル1階SPACES

Email: tgc-jp-info@wolterskluwer.com

Phone: 03-5219-1276